

滝野地域小中一貫校 基本計画策定業務の進捗状況について

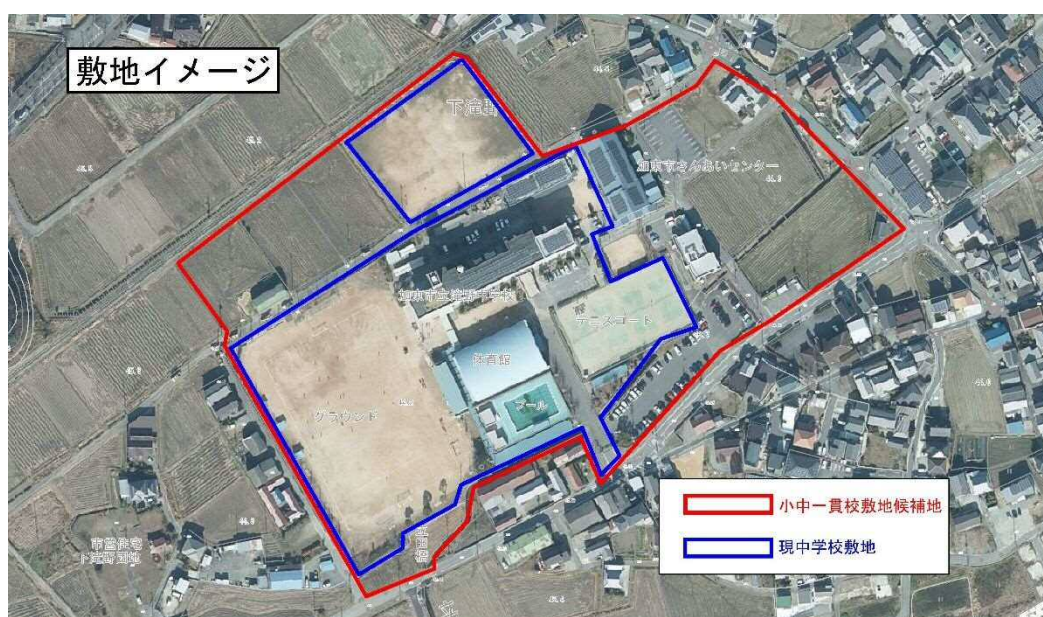
## 1 年次計画

R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
基本計画 用地測量 土地鑑定 物件調査	基本設計 (7°ロポーサル)	実施設計	建設工事	建設工事	供用開始

※プロポーザル…設計者を選定するため、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った設計者を選定する。

## 2 整備概要

- 滝野中学校周辺に施設一体型の小中一貫校を整備する。（2小学校、1中学校）
- 既存の中学校施設があるため、社地域小中一貫校と同様に、中学校校舎を長寿命化改修で活用しつつ、小学校施設を増設することが適切と考えられる。（中学校校舎は耐力度調査の結果、健全であった）
- 小学校施設を増設するにあたり、現在の中学校敷地だけでは敷地面積が不足するため、周辺土地を買収し、学校敷地を広げる必要がある。
- 中学校の南側、西側には住宅が多く立ち並んでいるので、小中一貫校の敷地は、東側や北側へ拡張するのが適切と考えられる。



### **3 土地利用規制**

#### **(1) 都市計画法関係**

建設予定地は市街化調整区域であるため、そのままでは小中一貫校は建設できない。

そのため、建設予定地全体を地区計画区域に指定し、開発許可を取得することで建築できるようにする。(その後、学校用地のみ市街化区域に編入予定)

#### **(2) 農地法関係**

##### **① 農業振興地域農用地からの除外**

市農政課及び県加東農林事務所との協議では、細部の調整は必要であるが、前向きな回答を得ている。

##### **② 農地転用**

市農業委員会との協議により、現時点で農地転用にあって大きな支障はない。

#### **(3) 埋蔵文化財保護法関係**

来年度に試掘を行い、遺跡の範囲を確定していく。

### **4 周辺の公共施設の取り扱い**

#### **(1) 雨水幹線**

小中一貫校の建設予定地内には、雨水幹線が通っている。

水路断面が大きく、付け替えには多額の費用が必要となるが、児童生徒の安全安心、敷地の一体的活用、水路の適正管理の観点から、敷地外周に水路を付け替えられるよう、関係機関と協議を行っている。

#### **(2) 市道**

小中一貫校の建設予定地内には、市道が通っている。

児童生徒の安全安心、敷地の一体的活用の観点から、市道を廃止する方向で関係機関と協議を行っている。

#### **(3) 旧保健センター**

作業所（夢工房いまじん）が使用しているが、R6.3 退去予定である。作業所退去後の利用計画はなく、また、施設規模から学校施設への転用も困難であるため、取壊しが適切である。

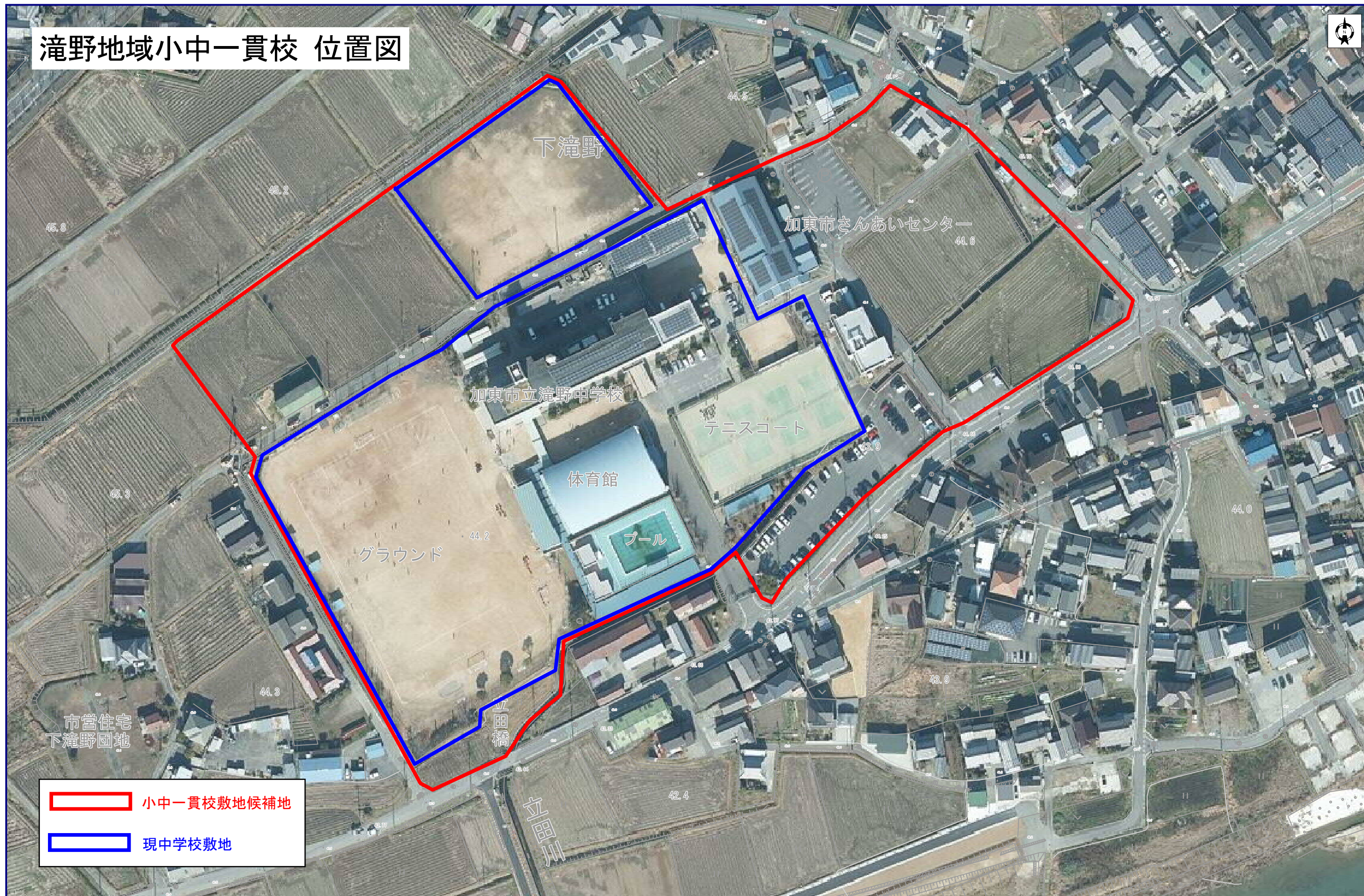
#### **(4) さんあいセンター**



生涯学習施設であり、登録団体がサークル活動場所として利用している。また、滝野中学校も武道場として、授業や部活動で利用している。

さんあいセンターを残したままでも校舎、グラウンド等の配置は可能であることや、さんあいセンターを取り壊す場合、取り壊しから移転先の整備完了までの数年間、サークル活動場所の確保が困難であることから、さんあいセンターは残置し、従前どおり、生涯学習施設として運用する。

※滝野地域小中一貫校の学校運営において、さんあいセンターを利用するかどうかについては今後調整が必要。

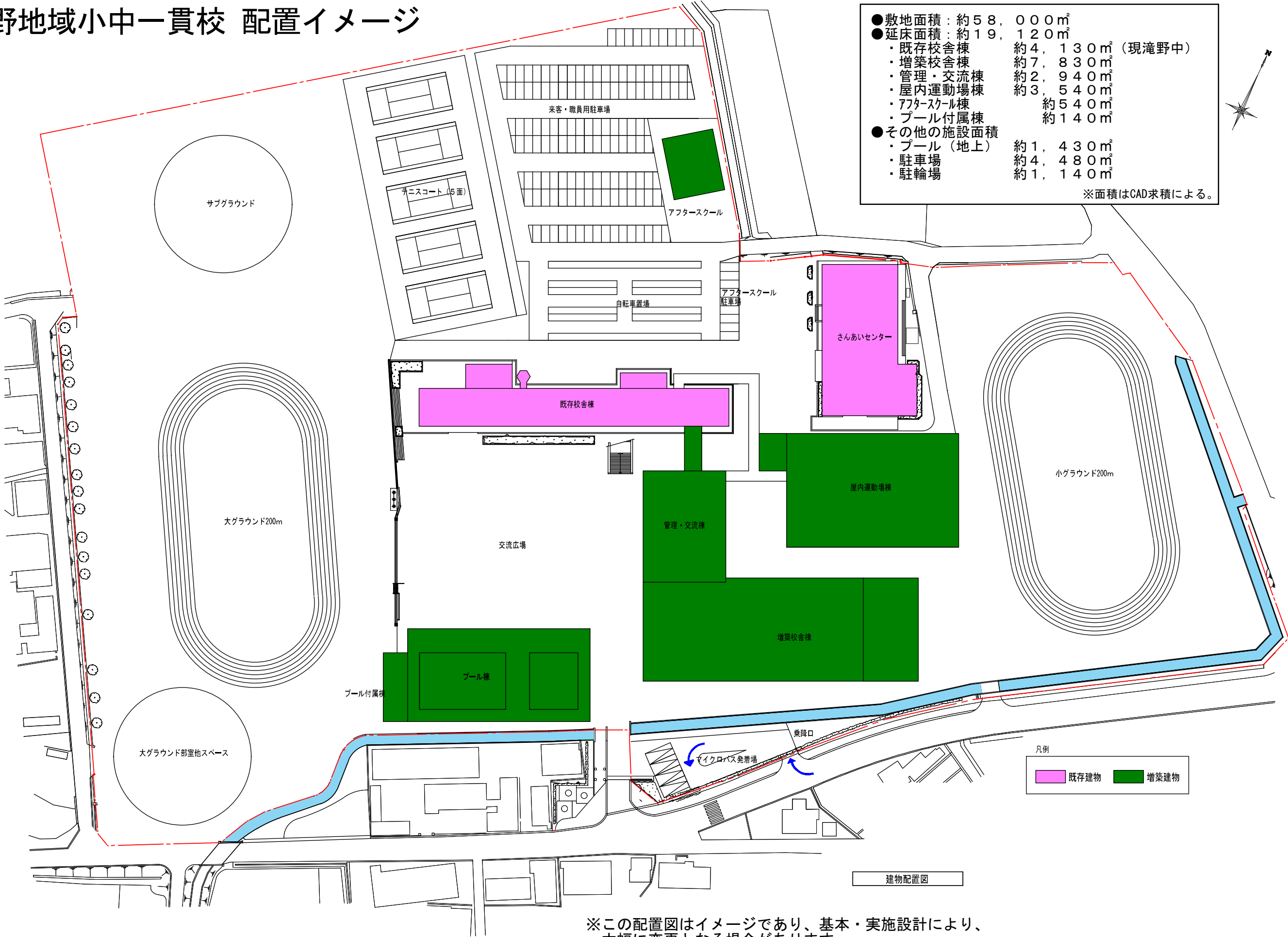
# 滝野地域小中一貫校 位置図



-  小中一貫校敷地候補地
-  現中学校敷地

0 50m

# 滝野地域小中一貫校 配置イメージ



※この配置図はイメージであり、基本・実施設計により、大幅に変更となる場合があります。